

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 6年 3月 15日

事業所名 児童発達支援CoCoRearはぐ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法定人員を守り、適切なスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		国の人員基準を満たしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		ロッカーや下駄箱は、お子さまの手が届く高さに設定しています。 個別のマーク、絵カードなど視覚的補助を取り入れています。 おもちゃや教材は外から見えないケースを使用し	事業所内はバリアフリーとなっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		職員やお子さまが触れるものは常に消毒し、毎日の清掃で清潔感のある環境になっています。 室内喚起を徹底しております	1日2回の清掃を徹底していきます。 目に見えない箇所の点検も行っていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		2週間に1度ミーティングを行い、目標設定と振り返りを共有しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	昨年度の評価をもとに、職員間で共有、改善点の話し合いを行っています。	清掃のチェックと徹底。 支援内容の共有。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		職員間で共有し、継続する点、改善する点を検討しています。	評価表の結果は、輝HIKARIのホームページで公開いたします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は実施しておりませんが、今後必要に応じて導入を検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に事業所内研修を行っています。 埼玉県や志木市の研修に参加し、内容を職員間で共有しています。 講師の先生をお招きした、法人の研修にも参加しています。	定期的に施設内研修を行っています。 全ての職員に研修に参加する機会を設けていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		面談を通してアセスメントを取り、ニーズと課題を分析した上で集団生活に沿った計画を作成しております。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたものは使用していませんが、利用に際して事業所のアセスメントシートを使っての聞き取りを行っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		課題内容や指導方法についてミーティングを行い、職員間で対応の仕方や支援目標を統一するようにしています。 日々のプログラムは複数の職員が立案し、児童の特性や目標に合わせた支援計画に沿ってどんな活動を行っていくか、明確	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		職員間で情報共有し、モニタリング後はミーティングで評価を行うなど、個別支援計画に沿った支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		1週間単位で、スタッフ間でプログラムを立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		各リーダーがねらいを定めてプログラムを作成しています。戸外活動の他に、机上プログラム、運動プログラムを立案し、年間カリキュラムを立てて取り組んでいます。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団生活を送る中で、個別に対応できるよう支援計画を作成しています。年長児に向けて個別課題を取り入れています。	年長児に向けて、個別課題の内容を充実させていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日朝礼を行い、支援内容や役割分担などを共有しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りを行いながら、活動記録を作成し、共有しています。改善する方法についての確認も行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援計画に沿った支援内容を職員間で共有しながら活動記録として記録しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		2週間に1度のミーティング内でモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		職員間でお子さまの情報を共有し、児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係各所、各市の発達支援センターと連携を取っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			減殺該当者はいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			現在該当者はいません。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		支援内容の情報共有と、相互理解を図っています。必要に応じて行動観察としての訪問も行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		各関係機関の来訪、関係機関の来所、電話連絡などで情報共有を行っています。	今後必要に応じて、小学校や特別支援学校とも連携を取り、情報を共有することで、スムーズな移行を図っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		発達障害支援専門研修を受講し、学んだことを共有しています。	発達障害者支援センターの研修等、案内があった際には積極的に参加していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		幼稚園や保育園等の活動に参加できる機会を検討していきます。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		法人理事が参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に保護者の方とその日の活動の様子、できたことなどについてお伝えしています。またご家庭での様子も伺うようにしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		保護者会、ペアレントトレーニング講習会、共に実施し、多くの参加を頂いております。	今後も定期的に保護者会やペアレントプログラム、ペアレントトレーニングの開催を検討していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に重要事項説明書、利用契約書を通して説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインに沿った個別支援内容を支援計画に表記しています。今後も保護者様にご理解いただけるよう、丁寧な説明を心がけていきます。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて面談を設定しています。保護者様から相談を受けた際には、適切な助言ができるよう取り組んでいきます。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		土曜開所日を設定し、保護者の方が参加できる機会を設けています。	今後も保護者会や参観日など、内容の充実を図り、職員と保護者、また保護者様同士のつながりを支援していけるよう努めます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があった場合、電話や面談にて迅速、適切に対応できるよう努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に1回、活動概要や行事予定をお知らせするおたよりを配布しています。また、週1回ブログにて活動内容を掲載しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報はすべて書庫で所管し、厳重に取り扱っています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		児童や保護者様に対して、個別に合った方法で意思疎通や情報伝達が行えるよう努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在は行えていませんが、必要に応じて対応していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		緊急時対応マニュアルを室内に掲示して常に確認できるようにし、防犯マニュアルや感染対策マニュアル等を設定しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1回様々な状況を想定した避難訓練を実施しています。 消防署による消火訓練も年1回行っています。	今後も消防署による訓練の実施を検討していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時にシートに記入、提出していただき、職員間で共有しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に保護者様から確認を行っております。必要に応じて医師の指示に基づいて対応を行います。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		危険な事例があった場合は、ミーティングを行い、職員間で共有し記録として残しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		市内の虐待研修に参加しています。	必要な研修に参加し、虐待防止などの知識を深め、適切に対応できるよう努めます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			現在該当者はいません。	

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。